

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川口東高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、次のステージに向け、より具体的な学校像となるよう工夫できると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。目指す学校像の実現に向けて、学校像と重点目標との連鎖を更に意識して中期的な視点から目標を設定することが期待される。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝え、共通理解が図られている。分掌・学年間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促進していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	希望制だったオンライン学習サービスを活用した学習を今年度一学年全体に導入するなど、方策が効果的にステップアップして実施され、具体的な成果も上がっている。分掌・学年等のシートを有効活用し、学校全体の目標と連鎖させて更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	教職員一人一人の能力を生かして組織力を高めようとしている校長の意欲が感じられる。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、課題の共通理解を図っている。アンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		